

	コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	467	健康21推進事業		会計	01	一般会計	
				款	04	衛生費	
				項	01	保健衛生費	
				目	01	保健衛生総務費	
基本 施策	01	10万市民の健康を維持する		細目	244	健康21推進事業	
				細々目	51	健康21推進事業	
行革大綱の重点事項番号							
担当部課	コード	130900		担当者 氏 名	太田 友美	連絡先	22 - 9653 (内線) 2665
	名 称	健康福祉部 健康推進課					

--	--

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	豊かな人生が送れるよう、健康に関する啓発事業等により、健康保持の意識が向上する。	
根拠法令・要綱等	伊賀市健康づくり推進条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内 容	関連事業	
	健康教育(補助金分)事業	
社会情勢 の変化等	平成19年度までは、健康まつりを生活環境部と共同で実施したが、平成20年度からは、廃止とした。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

--	--

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
			目標	実績	目標	実績
健康づくり講演会実施回数	回		2	1	1	1
			実績	実績		
こころの健康「リスナー研修」実施回数	回		5	6	4	4
			目標	目標		
			実績	実績		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
				目標	実績	目標	実績
講演会参加者数	人	相談者、測定者の増加は、健康保持の意識向上となる。		150	150	200	200
				目標	目標		
				実績	実績		
リスナー研修受講者	人	よき傾聴者「リスナー研修」を育てることは、ストレスを溜めない生活習慣を啓発できる。		150	170	120	120
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト	直接事業費計 (A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		184	169	224	300
A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金		169	224	
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	184	0	0	300
事業投入人件費 (B)		0.2 人 1,440	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440
フルコスト(A)+(B)		1,624	1,609	1,664	1,740

--	--

必要 性	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
必要 性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		「健康日本21」「ヘルシーピープルみえ21」「健康21計画」において、市民の自主性・主体性を重視した「一次予防」的発想へと方向性を転換した計画となっており、「健康は自分でつくるもの」という思想の普及を市が推進するよう規定されている。このことから、研修会・講演会といった市民が楽しんで積極的に健康づくりを推進できるような体制が求められている。
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市民全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○	
有効 性	疾病の早期発見、早期治療を重視した二次予防から住民の自主性・主体性を生かした一次予防を推進する事業であり、国の施策である「第3次国民健康づくり対策」を反映する事業である。		市民の自主性・主体性を重視した「一次予防」的発想への方向性を転換したことから、今市民が健康面で何を望んでいるか、ニーズをいち早く掌握し、その場にあったテーマで市民への積極指導を行うことができる。
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業		
達成 度	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
達成 度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	○	
達成 度	当初設定した計画を	80%以上100%未満	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	
達成 度	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】		他事業の活用が可能な事業で、限られた財源の中で充実した事業を実施するため国・県の推進する事業に協働することも必要であるため事業実施方法の見直しも必要である。
	【事業名】		
効果 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		他事業と連携して事業の実施が必要である。講演会等にこだわることなく、街頭キャンペーン等の実施も必要である。
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
効果 性	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。	○	
効果 性	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	昨年度に引き続き、平成22年度は大勢の市民参加が予定される「歯科保健大会」、「シティーマラソン」の会場で事業活動の展示・啓発を実施する。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 乳幼児健診・出前講座等で事業活動の展示・啓発を実施した。

--	--

担当課長氏名	入本 理
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 平成23年度は【仮称】「伊賀市健康21計画(第2期)」の策定年度であるが、当該健康21推進事業を引き続き実施する予定である。このため上位計画である「健康日本21」、「健やか親子21」、「ヘルシーピープル・みえ21」、「伊賀市総合計画」等の施策と整合性を図っていく必要がある。
現時点における課題、その他	講演会や研修会事業を行っているが、健康に関する分野やそれぞれのライフステージに偏りの無い市民のニーズに応じる事業を実施しなければならない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	出前講座・乳幼児健診・健康相談などに市民からアンケートを実施し、市民の関心の高いテーマで事業を実施し市民の健康増進に努める。